

10月6日(木)

13:00 – 13:05 開催挨拶

13:05 – 13:15 趣旨説明・開催案内

## 第一部「付着生物はおもしろい!」: 基礎科学編

13:15 – 14:15 セッション 1. 付着生物の多様性

・コケムシはおもしろい! —多様なかたちと生活様式からみたコケムシ学—  
広瀬雅人(北里大海洋)

・付着生物のゆりかご ゴカイの森  
○自見直人・福岡雅史(名大菅島臨海)・喜瀬浩輝(産総研)  
小木曾正造(金沢大環日センター臨海)・幸塚久典(東大三崎臨海)  
波々 伯部夏美(東大)・長谷川尚弘(北大)  
Laetitia Gunton・Pat Hutchings (Australian Museum)

・サンゴ礁のスナギンチャク類とテルピオスに関する最新研究: 未研究の生物を研究することの重要性

James Reimer(琉球大)

・生物に付着する生物: 寄生性甲殻類の多様性と進化  
渡部裕美(海洋研究開発機構)

14:30 – 15:30 セッション 2. 幼生付着機構と忌避物質の探索

・付着忌避物質研究の今昔  
沖野龍文(北海道大学大学院地球環境科学研究院)

・フジツボの幼生が着生に至る過程  
頼末武史(兵庫県立大学/人と自然の博物館)

・光環境と付着生物幼生  
金禧珍(長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科)

15:45 – 16:45 セッション 3. 表面物理化学 生物付着の表面科学的視点

・化学と物理学からみた付着のしくみ  
眞山博幸(旭川医科大)

・生物の分泌による動的な表面機能を模倣した付着抑制材料: SLUG (Self-Lubricating Gels)

穂積 篤(産総研)

- ・親水性ポリマーブラシ表面におけるキプリス幼生の付着力  
小林元康(工学院大学)

### 17:00 – 18:00 学生発表会

- ・小笠原諸島に分布するミズクラゲ属 *Aurelia* sp. のポリプの生態について  
石井晴人・<sup>○</sup>坂本さら沙(東京海洋大学大学院)
- ・給餌の有無がアカクラゲ *Chrysaora pacifica* のポドシスト形成に与える影響  
<sup>○</sup>小泉雄聖・三宅裕志(北里大院海洋)
- ・西太平洋に生息するエジソンレパス *Leucolepas longa* の集団遺伝学的解析および系統地理  
<sup>○</sup>服部俊平(北里大院海洋)・渡部裕美(海洋研究開発機構)  
三宅裕志(北里大海洋)
- ・表面官能基の幾何学的なパターンがフジツボキプリス幼生の着生に与える影響  
<sup>○</sup>渡邊純平(千歳科技大院)・室崎喬之(旭川医大)  
野方靖行(電中研)・下村政嗣(千歳科技大院)  
平井悠司(千歳科技大院)
- ・走査プローブ顕微鏡を用いたキプリス幼生の凝着力測定と日齢依存性  
<sup>○</sup>佐藤亮太(工学院大院工)・野方靖行(電中研)・小林元康(工学院大先進工)

10月7日(金)

### 第一部「付着生物はおもしろい!」: 応用編

#### 10:00 – 11:20 セッション 4. 生物生産と生物制御 海で困っていることを解決!

- ・バラスト水管理条約～主に生物分析について～  
大村卓朗((株)水圏科学コンサルタント/東京海洋大)
- ・付着生物と船底防汚塗料の働き  
永瀬靖久(日本ペイントマリン株式会社)
- ・広島県のカキ養殖と採苗安定化の取り組み  
水野健一郎(広島総研水海技セ)
- ・採苗判断のための AI 画像認識によるカキ類幼生検出アプリの開発  
<sup>○</sup>柳川敏治・西田有理花・中村昭史(中国電力)  
林義雄・神谷享子(セシルリサーチ)

**11:30 – 12:30 セッション 5. 環境保全・気候変動**

- ・自然の高 CO<sub>2</sub> 海域を利用した付着生物群集・生態系の将来予測  
和田茂樹(筑波大学・下田臨海実験センター)
  
- ・女川湾における環境変動、付着性生物および動物プランクトン群集構造動態との関係性  
藤井豊展(東北大院女川フィールドセンター)
  
- ・ミドリイガイ近況II-黒装束の侵入者その後のその後-  
植田育男(神奈川大学)

**13:30 – 14:30 セッション 6. 付着生物と文化・教育**

- ・付着生物を知ってもらうには ～水族館の展示と取り組み～  
○市川隼平・勝見 乃里江・小倉 仁・加藤浩司(名古屋港水族館)
  
- ・南方熊楠の「フジツボ標本」と「玉を抱く龍」の関係性—生物学と民俗学の分野を越えて見えてくるもの—  
富士うらら(南方熊楠記念館)
  
- ・フジツボ食文化 —— 人はフジツボ類をどのように食べてきたのか  
鶴見浩一郎(八戸学院大)

**第二部 総合討論**

14:45 – 15:45 「付着生物研究は、社会を豊かにするのか？」

15:45 – 15:55 総合討論の総括と閉会の挨拶